

- ⑮ 同上。
- ⑯ 崇文書局本水經注目錄に附せる紀昀等の上文参照。
- ⑰ 前出「西域研究」(第一回)参照。
- ⑱ J. A. 1916. p. 118-119.
- ⑲ 沙州都督府圖經、廿祥瑞の項中、蒲昌海五色の條。支那學第三卷第五號所載、拙稿「漠北の地と康國人」参照。
- ⑳ 敦煌遺書活字本第一集 p. 6.
- ㉑ 同上。p. 27-28.
- ㉒ Serindia, Plate C. ch. ciii, 0014 にその一部分を印出せり。
- ㉓ Serindia, Plate CLXVII. ch. 936 にその一部分を印出せり。
- ㉔ 前出石田・神田諸氏の論文及び藤田氏の「黎軒と大秦」(史林第十三卷第一號)には皆この條が引用研究せられて居る。
- 補註① 公廩本錢のことは唐會要卷九十三、諸司諸職本錢の條參看。
- ② 參謀張大慶と言ふ名、B.N. 3451に見ゆ。この殘卷は一種の變文にして那波利貞氏學位論文下冊一三八頁に抄出す。

(小川博士還曆記念史學地理學論叢、昭和五年十月)